

看護師の魅力



看護師は主に療養上の世話や医師の診療補助を通じて、傷病者、妊産婦、高齢者 など、健康についてさまざまな問題を抱える人々を支えています。

看護師の役割は、赤ちゃんからお年寄りまであらゆる年代の方に寄り添い、病いや老いなどによって心身が衰えても、その人らしく尊厳を保ちながら、苦痛なく快適に過ごせるようケアすることです。

そこには本人に対する医療的なケアはもちろん、本人やその家族に対する精神的なケアも含まれています。看護師というと「病院勤務」と思われがちですが、近年、長寿化や少子高齢化を背景にケアの場は病院から在宅、施設へと移行しています。

それに伴い、看護師の活躍の場も医療機関から訪問看護ステーション、高齢者向け施設などへと広がっています。

活躍の場は多種多様、働き方は自分次第です。

さあ、現場で働く看護師の様子をのぞいてみましょう！

手指消毒をしています。
流水での手洗いの他、アルコール製剤で手指消毒をこまめに行っています。



手指消毒しなくちゃね！
きほん、きほん♪



廊下にもアルコール製剤を
設置していますが、看護師も
個人でポシェットに入れて、
いつでも手指消毒が出来る
ようにしていますよ！

足浴をしています。普通の入浴が困難な患者さんにとって、体への負担が比較的
少ない方法です。皮膚の清潔を保つ・血液の循環を促す・爽快感によるリラックス
効果などが期待できます。



はあ～気持ちんよかね～
足の先からぼかぼかしてきたよ～
ありがとうね～

喜んでもらえたなら良かったです♪
かゆいところがあったら言って下さね



血圧測定をしています。定期的に血圧測定をすることで、患者さんの平均的血圧を知ることができます。ちょっとした体調の変化を見逃さないためにも、とても大切な日々の仕事です。



調子はどがんですか？
血圧はかりますね！



おかげさまで調子いいよ。
いつもありがとう！

手の爪切りをしています。皮膚を傷つけたり、割れたり、爪の間の汚れによる感染などを予防し、爽快感をもたらします。

爪が伸びてきたので、少しだけ
切りますね。
痛くないので安心して下さい。



ほんなごと、上手に切るたい！
ありがとうね！



●●さんですが、
△△の処置で間違
いがないですね。



今日はあれして
これして...



○号室の●●さんは、
△○口でした。



真剣!!

看護記録や記録内容を共有したりしています。
患者さんの状態を観察したことや、看護ケアを
行ったことなど、毎日看護記録にまとめます。
記録内容は、患者さんに携わる他の看護師や、
医師、リハビリスタッフなど、他職種のスタッフと
情報共有をするためにも、的確に正しく記載し
ないといけません。
また、退院後の継続した看護を行うためにも、
とても大切な作業です。



手術室での場面です。

看護師は、必要な医療機器の準備や、室温調節、患者さんの全身確認や記録など、手術に必要な事前準備を行ったり、手術の様子をうかがいながら、医師が必要とする器械を手渡すなど、直接的なサポートを行ったりします。

また、手術前後の患者さんの精神的な不安を取り除くことも大切な仕事です。



緊張しますよね・・・
ゆっくり深呼吸して気持ちを
楽にしてくださいね



ゴシツ
ゴシツ
ゴシツ



これも準備しておきます！



ガラガラガラ・・・



絶対に成功させましょう！
サポートをよろしくお願
いします！

先生、任せてください！



ピッ
ピッ
ピッ
ピッ

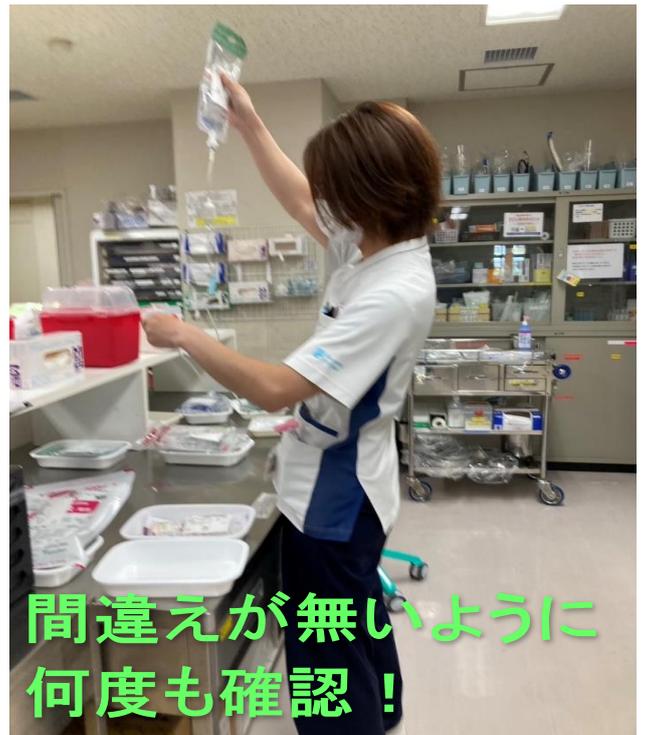
点滴の場面です。

点滴の種類は、患者さんの病状によってそれぞれ違います。

看護師は、医師から指示された量を指示された時間までに、注入できるように計算して速度を調整します。



〇〇さん、今日もいい天気
ですよ。
点滴かえますね～



間違えが無いように
何度も確認！



ごめんなさい。
少しチクっとしますけど、
すぐに終わりますね。





次はこれ食べましょうか！

〇〇さん、お昼ごはんですよ
今日のメニューは〇〇と、〇〇が
入ったみそ汁と、くだもののデザート
がありますよ～
たくさん食べましょうね！！



食事の場面です。
患者さんの状態に合わせ、
1口の量や、きちんと飲み
込めたかななどを観察しながら
食事介助を行います。
会話の中に、メニューの説明
を行うと、わかりやすくて
いいですね！
食事は楽しくがモットーです。



1口1口ゆっくりと



それは良かった！
毎日おいしく
食べてくださいね！

シャカ
シャカ
シャカ

今日もめしの
うまかった～！！



歯磨きの場面です。
歯磨きは、口の中を綺麗にするだけ
でなく、会話や食事が楽しめたり、
表情を豊かにしたり、全身の健康や
生活の質の向上にも繋がる、とても
大切なケアです。





看護師の仕事…

それは一言では言い表せないほど、多岐にわたります。これまでご紹介した写真は、病院で日々奮闘している看護師のほんの一部の姿です。他にも、患者さんのご家族へのケア、患者さん自身の心のケア、看護師や他職種スタッフとの連携強化…目に見えない業務もたくさんありますが、様々な業務の原点は、「患者さんは何を望んでいるのか、どうしてほしいのか」患者さんの立場になって考える」全てはここにある気がします。それが「ありがとう」になったとき、本当に何とも言えないやりがいを感じ、「看護師の魅力」にはまってしまうのです。

活躍の場は病院を飛び越えて、在宅訪問看護、児童施設、高齢者施設など様々です。あなたの目指す看護師に、是非なっってくださいね！！！！

現在、認定看護師として活躍されている方々にインタビューしてみました！
認定看護師とは、特定の分野において深い知識と熟練した看護技術を持っていると認められた看護師です。
みなさまの進路の参考になれば幸いです。

✿ 認知症看護認定看護師 ✿

認定看護師を目指そうと思ったきっかけは？

中堅看護師になったときに、スキルアップと病院の貢献度を考えて選択したのが認知症看護認定看護師でした。
また、認知症の人は今後も増加するとされており、院内のみではなく、地域での需要が高まっていることもきっかけの一つでした。

認定看護師としてのやりがいは？

自分の知識や経験が患者さん、スタッフに反映されたとき、認知症の人がニコニコしている時にやりがいを感じます。

認定看護師として病院でどのような仕事をしているのでしょうか？

毎週、各病棟をラウンドし、認知症の人自身の困りごとへの介入や、スタッフへの認知症看護指導を行っています。
せん妄や不眠への薬剤選択について医師からも相談があり、治療の一端を担えているかと思います。

看護師を目指すみなさんへ一言お願いします！

看護師免許を取得するまで、取得してからも大変なことは多いですが、それに見合ったやりがいを感じることができます。
一緒に認知症看護を極めましょう！

🌸 救急看護認定看護師① 🌸

認定看護師を目指そうと思ったきっかけは？

看護師は外科、内科、小児科、手術室、透析室、集中治療室など様々な部署で働く事が可能ですが、自分自身は好きな分野で勤務したいと思っていました。

そのため1番興味があつた救急外来で働くために、救急看護認定看護師を目指しました。

認定看護師としてのやりがいは？

当院は2次告示病院ですので、軽症から重症まで様々な症例の患者が来院します。初期対応時、軽症と考えていた人が実は重症の症例であることも多くあります。

そのような患者の初期対応を行い、救命できた際にはやりがいを感じるがあります。

認定看護師として、病院でどのような仕事をしているのでしょうか？

救急看護認定看護師として、日々救急患者に対する初期対応を行っています。

また、特定看護師として、特定集中治療室における患者さんの、人口呼吸管理をなども行っています。

看護師としてのやりがいは？

楽な仕事ではありませんが、やりがいのある職業です。看護師免許は国家資格ですので、子育てや配偶者の転勤などで一度退職しても再就職する際は有利であると思います。また収入面でも比較的安定しています。看護師として働くことを希望されるのであれば、最初は教育システムが確立している総合的な中規模以上の病院で勤務されることをお勧めします。

❀ 救急看護認定看護師② ❀

認定看護師を目指そうと思ったきっかけは？

関東の病院に転勤で行った時に配属先が救命救急センターで、初期対応での看護実践の難しさや大切さを実感した事がきっかけでした。自分の身近な人が病院に救急搬送されてきた時に、できるだけ体制を整えておきたいと考えたため、目指しました。

認定看護師としてのやりがいは？

自身が学びたい、目指したい看護を日々実践できることだと思います。また、看護師スタッフの方と一緒に看護実践をして、患者様が回復の方向に向かったり、救命できた時はやりがいを感じます。自身の目標達成よりも、周囲の方の目標達成に少しでも関わった時がとてもやりがいを感じます。

認定看護師として、病院でどのような仕事をしているのでしょうか？

自身は救急看護認定看護師なので、救急患者対応を主に実践し、急変対応コース(KIDUKIコース)やBLS、救急看護に関する卒後教育など行っています。

看護師を目指すみなさんへ一言お願いします！

これからは、医師や看護師不足が顕著になり、看護師としての専門性が、より問われる時代になると思います。看護師になることの目標＋自身が行いたい・極めたい看護を少しイメージできていると、入職を希望する病院選択にもつながると思います。

✿ 皮膚・排泄ケア認定看護師 ✿

認定看護師を目指そうと思ったきっかけは？

泌尿器科病棟で勤務していた時、尿路ストーマを造設した患者さんを受け持ち、面板の選択に大変苦慮しました。患者さんにとってベストな面板を選択できず、困っていた際に皮膚・排泄ケア認定看護師の方に助言をもらいました。『なるほど！』と思うことがたくさんあって、これまでの悩みが解決できたことが嬉しく、それから自分なりに勉強を始めたのがきっかけです。

認定看護師としてのやりがいは？

創傷がある患者さんが治癒に至った際はやりがいを感じます。医師や看護師と一緒にやりとげた感じがあります。

認定看護師として、病院でどのような仕事をしているのでしょうか？

特定認定看護師となった今、創傷ケアに関わることが多いです。入院患者さんの術後創、外傷や褥瘡などのケアに関して先生方よりコンサルテーションを頂き、ケアを開始しています。しかし、外来勤務をしながら活動しているため、タイミングが合わなかったりすることも多く、電話だけの対応になることもあります。

看護師を目指すみなさんへ一言お願いします！

これまで看護師をしてきて大変なことやつらいこともありました。でも一緒に働くスタッフや患者さんに支えてもらいながらここまでやってこれたと感謝しています。またチーム力のすごさを実感しています。看護師に興味を持っている方、是非チームの一人となって一緒に働くことを楽しみにしています。

みなさん、私たちと一緒に働きませんか！！

